

教科	工業	科目名	住環境デザイン	単位数	2
学科	インテリア科	学年	3 学年	履修区分	選択
使用教科書	カラーコーディネーター検定試験2級公式テキスト(東京商工会議所) 福祉住環境コーディネーター公式テキスト(東京商工会議所)				
副教材など	新配色カード(日本色研事業株式会社)				

### 1. 科目の目的

- ・社会におけるデザイン技術の意義や役割を理解、デザイン技術に関する知識や技術の習得、デザインおよび色彩を活用する能力と態度の育成を目的とします。
  - ・住宅や社会において、安全で安心できる「福祉住環境デザイン」に関する知識や技術の習得、福祉住環境デザインおよび整備を活用する能力と態度の育成を目的とします。
  - ・具体的目標として、高学年で学ぶ専門科目の分野に発展する基礎知識を学び、検定試験等の資格試験のための基礎学力の確立を目指します。関連する資格の主なものを下記に示します。
- 1) カラーコーディネーター検定試験2級(東京商工会議所)
  - 2) 福祉住環境コーディネーター検定(東京商工会議所・施工商工会議所)
  - 3) インテリアコーディネータ(インテリア産業協会)

### 2. 授業の内容と進め方

- ・本校では、講義のみの授業にならないように、教科書を理解させるだけでなく、色彩と配色の実技を取り入れて、各種資格試験の取得にもつながる知識を習得しています。また、少子高齢社会での福祉住環境デザイン、整備の実技や知識を習得しています。

### 3. 学習する上での留意点

- ・少子高齢社会の現状と課題、福祉住環境デザイン、福祉用具、安全・快適な住まいの整備、安心できる住生活とまちづくりを身近な生活と係わり持たせながら学習する。それらの基礎的・基本的な知識や技術を、インテリアコーディネータの資格取得を目指して確実に習得できるようにします。また、色彩とデザインを色彩検定の資格取得を目指して確実に習得できるようにします。
- ・色の持つ様々な働き、基本的用語や概念、日常使われている基本的な色名やその由来、光とは何か、光と様々な色彩現象、混色や色彩心理、色彩調和、ファッション、インテリア、環境を身近な生活と関わりを持たせながら学習する。

### 4. 課題等について

- ・色彩検定や福祉住環境コーディネーター検定の時期には朝補習を実施して、課題プリントや小テストを行い、そこまでの内容理解度のチェックをします。
- ・理解が不足していれば補習・再テストを繰り返します。

### 5. 成績評価規準(評価の観点及び趣旨)

評価の観点	評価規準
関心・意欲・態度	身近な空間・地域コミュニティ・まちづくりを含んだ福祉住環境整備や色のコーディネートに関心をもち、進んでその福祉住環境整備や色の働きや効果について調べ、得た情報について自分の考えを持ち、伝え合おうとしたか。
思考・判断・表現	福祉住環境デザイン、福祉用具、快適な住まいの整備、安心できる住生活とまちづくり、色彩(色の本質・体系、色の見え方・感じ方、色の混色、配色)、ファッション、インテリア、環境のコーディネーション等の情報の基本的な知識や技術を活用し、思考・判断し、具体的な事象に対して深く考えるところにも適切に判断しているか。
技能	福祉住環境デザイン、福祉用具、快適な住まいの整備、安心できる住生活とまちづくり、色彩の基礎知識、ファッション、インテリア、環境コーディネーション等の基礎的・基本的な技術を、新たな視点から応用発展的に捉え、実際に活用する能力と実践的な態度をもち、デザインや配色として具現化する能力を身につけているか。
知識・理解	福祉住環境デザイン、福祉用具、快適な住まいの整備、安心できる住生活とまちづくり、色彩の基礎知識、ファッション、インテリア、環境コーディネーション等に関する基礎・基本的な知識と技術を身につけ、デザインや配色の意義や役割を理解し活用し、創意工夫する能力を身につけているか。

### 6. 評価の方法

評価については、定期考査・校内実力テストでの成績や課題の提出状況を平常点として加えて、総合的に判断する。

- 1) 定期考査(1年間に4回実施)の結果により、学習内容の理解度及び定着度を評価する。
- 2) 校内実力テスト(定期考査を補完する意味で、長期休業明けに校内実力テストが行われる)
- 3) 「授業中の学習態度、課題の提出状況、授業時のノート整理により、学習内容への関心・意欲を評価する。

《指導計画》 科目名 住環境デザイン

3 学年

2 単位

学期	月	学習内容 (単元・考查等)	学習のねらい	評価方法等
一 学 期	4	3.バリアフリーとユニバーサルデザイン 3.2 生活を支えるさまざまな用具	高齢者や障害者の動作の自立を促す、用具の知識と有効な使用方法を学習する。	行動観察 質疑応答 課題
	5	4. 安全・快適な住まい 4.1 安全・快適な住まいの整備	高齢者や障害者を対象とした、より安全・安心で自立した生活を送るための、住環境整備の方法を学習する。	ノート 中間考查
	6	5. 安心できる住環境とまちづくり 5.1 ライフスタイルの多様化と住まい	時代と共に変化する家族形態や暮らし方の変化をふまえ、高齢期の住まい方について学ぶ。	行動観察 質疑応答 課題
	7	5.2 安心できる住生活支援 5.2 安心して暮らせるまちづくり	住環境整備に関する施策や法律、それらに基づく主な制度や設計指針などについて学習する。 バリアフリー・ユニバーサルデザインを満たすまちづくりを行うための基本的なしくみを学習する。	ノート 期末考查 行動観察 質疑応答 課題
二 学 期	9	6. 地域で取り組む福祉のまちづくり コレクティブハウジング	実例を基に各福祉施設のハードからソフトの構築を学ぶ。	ノート 中間考查
	10	小規模多機能ホーム		行動観察 質疑応答 課題
	11	小規模多機能型居宅介護、デイサービス、グループホーム		ノート 期末考查
	12	7.福祉施設の設計 設計条件(法規、間取り、大きさなど)の確認 エスキス	学習内容を基に、福祉施設の設計を行う。	課題
三 学 期	1	基本設計 平面図、立面図、断面図		学年末考查
	2			
	3			

|